



オートバックス 通信 vol.28

第63期 第1四半期 事業報告書 2009年4月1日から
2009年6月30日まで

- 1 TOPメッセージ
- 3 特集 第62期定時株主総会のご報告
- 5 ニューストピックス
- 6 オートバックスグループ新店紹介
- 7 知らなきゃ損! オートバックスお役立ちピットメニュー紹介
- 9 カー用品調査団ーリアシート用モニターとアシストカメラ
- 11 財務報告
- 13 会社情報
- 14 株主情報

さわやかな季節となりましたが、株主の皆様にはますますご健勝のほどお喜び申し上げます。

日頃より、株主としてご支援を賜り、またお客様としてオートバックスグループ店舗をご利用いただき、誠にありがとうございます。

2010年3月期第1四半期のご報告として、「オートバックス通信 Vol.28」をお届けします。

2010年3月期第1四半期の概況

2010年3月期第1四半期においては、世界的な不況による企業収益の低迷とともに個人消費も停滞するなど卸売・小売業にとっては厳しい事業環境でありました。しかしながら、本年3月末より実施された高速道路の週末における値下げによりETC車載器の強い需要が継続し、さらに、これに伴いドライバーの皆様が高速道路を利用して遠出をしようという動きが強まり、カーナビゲーション、タイヤ、オイルやバッテリー交換などに対する需要も高まりました。

このような事業環境の下、当社グループの第1四半期の業績は、ほぼ我々が想定していたものとなりました。一部、フランチャイズ法人に対するカー用品の卸売の未達などもありましたが、売上総利益率、コストは改善し、営業利益・経常利益は前年同期と比べて大きく増加し、昨年度から実施している中期経営計画の効果が着実に現れてきております。

「クルマのことならオートバックス」を目指して

今後の当社グループにおける取り組みといたしましては、事業の整理に関わるものはほぼ終了し、いよいよ当社グループの中期的に目指す方向性である「クルマのことならオートバックス」の実現に向けて邁進してまいります。最も注力する点と



いたしましては、店舗におけるお客様視点での品揃え、接客態度の向上、売場やウェイトニングコーナーの清潔さの向上など、小売業の原点に立ち返り、クルマに関わる全ての人が、「クルマのことならオートバックス」と真っ先に思い浮かべてもらえるよう支持・信頼されるための施策を展開してまいります。

日本における自動車関連消費環境は必ずしも順風とは言えません。しかし、当社グループはカー用品・サービスの専門店としてのリーディング企業として、さらに事業の足固めをするとともに、将来の再成長に向けた準備を進めてまいる所存です。株主の皆様におかれましては、今後とも当社グループへの変わりぬご厚情とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2009年9月

代表取締役 社長執行役員

涌田節夫

第1四半期決算の概要

事業環境

- ：高速道路料金の一部値下げに伴うETC車載器やロングドライブ関連商品の需要が高まりました。
- ×：景気の影響で個人消費が低迷し、新車・中古車の登録台数も減少しました。

国内オートバックスチェーン店舗売上

既存店 +3.3% 全店 +4.1%

連結売上高

59,538百万円 前年同期比 ▲12.4%

- 要因①：昨年度実施した事業の整理により、海外現地法人、二輪用品、燃料などの売上が減少しました。
- 要因②：店舗におけるカーエレクトロニクス、メンテナンス関連商品、サービスの売上が好調でした。
- 要因③：フランチャイズ法人に対するタイヤ・ホイールなどの卸売が一時的な要因により減少しました。

売上総利益と販売費及び一般管理費

- 要因①：売上総利益額は、事業の整理に伴い減少したものの、売上原価低減の取り組みなどにより売上総利益率が改善しました(29.0%⇒30.2%)。
- 要因②：販売費及び一般管理費は、事業整理、広告宣伝費やIT関連費用の削減により減少しました(197億円⇒158億円)。

営業利益

2,085百万円 前年同期比 +2,067百万円

経常利益

2,635百万円 前年同期比 +349.2%

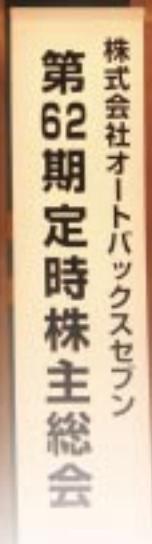
四半期純利益

873百万円 前年同期比 ▲70.2%

- 要因①：前年度はリース会計基準の適用などに伴い特別利益として5,190百万円計上しており、今年度はその効果が無くなっています。
- 要因②：事業整理に伴う特別損失を一部計上しています。

→(詳細はP12をご参照ください)

特集 第62期定時株主総会のご報告



当社は2009年6月25日(木)、ホテルイースト21東京(東京都江東区)において、第62期定時株主総会を開催しました。会場には121名の株主さまがご来場され、議決権行使書を前もってご提出していただいた方を含め、前期の総会を上回る3,284名(議決権の数31万9,229個)の株主さまにご出席いただきました。ご出席いただきました株主の皆さまに深く御礼申し上げます。

株主総会は、午前10時に開始し、代表取締役湧田節夫、取締役経森康弘から第62期事業報告などの報告を行った後、議案の上げ及び質疑応答を各議案ごとに行いました。質疑応答におきましては5名の株主さまから主に店舗におけるサービ

スや売れ行きなどについてのご質問と経営への励ましのお言葉をいただきました。議案につきましては、剰余金の処分、定款一部変更、取締役9名の選任の3議案がそれぞれ原案どおり承認・可決され、1時間9分で終了しました。当社では、株主の皆さまとの質疑応答において頂戴した貴重なご意見・ご進言を、今後の経営に生かしていく所存です。

また、今回よりIR活動の一環として、議決権の行使結果を東京・大阪両証券取引所及び当社ホームページに開示いたしました。今後も透明性の高い経営に取り組んでまいります。

6月26日に開示した議決権行使結果

1. 議決権の状況

議決権を有する株主数	10,933名
総議決権個数	374,035個

2. 議決権行使状況

	株主総会前日までの 議決権行使(事前行使)	株主総会当日出席による 議決権行使	議決権行使合計
議決権行使個数	177,677個	141,552個	319,229個
行使率	47.5%	37.8%	85.3%

3. 議決権行使結果

	事前行使における 賛成数(賛成率)	当日出席を含めた 賛成数合計	議決権行使合計における 賛成率
第1号議案 剰余金の処分の件	177,031個 (99.6%)	318,581個	99.7%
第2号議案 定款一部変更の件	177,030個 (99.6%)	318,580個	99.7%
第3号議案 取締役9名選任の件	175,622個～176,943個 (98.8%～99.5%)	317,172個～318,493個	99.3%～99.7%

注1) 事前行使における賛成数は、書面による議決権行使及び電磁的方法などによる議決権行使(議決権電子行使プラットフォームによる行使を含む)による賛成数です。

注2) 当日出席を含めた賛成数合計は、「事前行使における賛成数」と「当日出席の株主から各議案の賛否に関して確認できた賛成数」を合計したものであります。

注3) 当日出席株主の賛成数につきましては、閉会後の確認に基づくものであり、必ずしも正確な数値とは限りません。

プライベートブランド・専売商品の展示

株主総会会場に隣接した株主さま向け休憩室において、当社のプライベートブランド商品・専売商品の一部を展示いたしました。店舗の売場と見間違えるほど、壁一面に商品が展示され、株主さまからは「こんな商品もプライベートブランドだったのか」という驚きの声が聞かれました。



ニュースピックアップ

オートバックスグループ専売商品 3アイテムを発売

4月にオートバックスグループ専売のウーファー「DynaQuest 20cmチューンナップウーファー」、6月にオートバックスグループ専売のラジアルタイヤ「ピレリP4 FOUR SEASONS」及び専売アルミホイール「e:vance ES5」を発売しました。

3アイテムとも低価格ながらも品質、利便性、デザインを追及し、発売後、ご好評を頂いております。

今後もPB・専売商品を強化し、低価格かつお客さまのニーズに合致した商品を提案していきます。



DynaQuest 20cm
チューンナップウーファー



ピレリP4 FOUR
SEASONS



e:vance ES5

店舗の譲渡、譲受を実施



当社グループは、中期経営計画において「オートバックスFC事業の強化」に取り組んでおり、6月に伊丹尼崎エリアで子会社が運営する1店舗をフランチャイズ加盟法人に譲渡いたしました。また、福岡エリアにおいて、新たに子会社を設立し、当社フランチャイズ加盟法人より8店舗を譲り受けました。

当社は今後も出退店に加え、店舗の営業譲渡を行うことによりエリア内シェアの拡大と競争力の強化を図り、収益の改善に努めてまいります。

このページの詳細、及びその他ニュースはこちらに掲載しております。
<http://www.autobacs.co.jp/ja/news/index.php>

自己株式の消却と取得

当社は、資本効率の向上及び株主還元強化を図るため、2009年5月22日をもって2009年3月末時点で取得済みの180万株の全自己株式を消却し、2009年5月18日から2009年7月24日の期間において、160万株、5,369百円の自己株式の取得を実施いたしました。

当社は今後も中期経営計画に沿って、資産効率を高めた経営を推進して参ります。株主還元に関しましては、2011年3月期にDOE（株主資本配当率）3%を目標に安定的な配当を、自社株買いは財務状況を見つつ、機動的に行っていく方針です。

自己株式
180万株
消却

自己株式
160万株
取得

オートバックスグループ新店紹介

オートバックス 大垣店



「オートバックス大垣店」

移転新築オープン 2009年4月16日(木)

〒503-0854 岐阜県大垣市築捨町4丁目72番
TEL. 0584-87-0189

オートバックス にしこや 西昆陽店



「オートバックス西昆陽店」

改装オープン 2009年6月11日(木)

〒661-0047 兵庫県尼崎市西昆陽2-1-30
TEL. 06-6439-0107

オートバックス 山形北



「オートバックス山形北」

新規オープン 2009年6月23日(火)

〒990-0810 山形県山形市馬見ヶ崎四丁目10番3号
TEL. 023-674-0355

店舗情報はこちら→<http://www.autobacs.com>
トップページより店舗検索ボタンをクリックし店舗を検索してください

知らなきゃ損!

オートバックス お役立ちピット メニュー紹介

オートバックスグループのおすすめピットメニューを紹介するこのコーナー。今回は愛車を美しく保つボディコーティングをご紹介します。ディーラーや整備工場に行かなくてもオートバックスでボディコーティングをはじめとした各種コーティングが受けられます。愛車の中も外のメンテナンスもオートバックスにお任せください!

コーティングとは

樹脂・薬品等で処理することによって素材表面を薄い皮膜で覆い、素材を保護したり、機能性をもたせることを言います。クルマに関わるものではボディコーティングの他に、撥水(水を弾く)加工などのガラスコーティングや艶を持続させるホイールコーティングなどがあります。

ボディコーティング...

ボディ全体に専用の溶剤を定着させることにより、酸性雨や紫外線、汚れなどから塗装を守る皮膜をつくります。それにより、汚れがついても、水洗いすることで光沢の維持が可能になります。愛車をいつまでもきれいに輝かせたい方、毎回WAXがけが面倒という方におすすめのピットメニューです。

作業工程 1



まずボディの汚れを落とします

作業工程 2



鉄粉、タールやピッチなど洗車では取ることのできない汚れを取り除きます

作業工程 3



ボディー全体を丁寧に磨き上げます

こんな方にオススメです!

- ワックスがけは面倒だけど、愛車の外観をきれいに保ちたい方
- 新車時の光沢を保ちたい方
- 洗車をもっと簡単に済ませたいとお考えの方
- 屋根のない駐車場によく駐車される方
- ワンボックスやミニバンなど洗車に時間のかかるおクルマをお持ちの方

価格の目安※:約1万円~約5万円

作業工程 4



コーティングを施行して完成!
こんなにきれいになりました!!

ボディコーティングQ&A

Q コーティングの効果はどのくらいもつの?

A コーティングの際に使用する溶剤によって変わります。約3ヵ月持続するものから1年以上持続するものもあります。ご予算などのご要望に合ったコーティングをお選び下さい。

※おクルマの使用状況によっても変わります。

Q ボディコーティングした後の洗車はどうしたらいいの?

A 最近ではコーティング施工専用のカーシャンプーが発売されています。ボディを傷付けないためにも、専用カーシャンプーを使って洗えばOKです。

Q コーティングした後はワックスをかけてはいけないの?

A コーティング後のワックスはお止め下さい。コーティングの効果が落ちてきたと感じられたら、コーティングをされた店舗にてメンテナンスを行うことをおすすめします。

※ 価格はコーティング剤の種類や車種によって異なります。また、一部の店舗ではコーティングをご提供していない場合があります。最寄の店舗にお問合せください。

カー用品 調査団

このコーナーでは、近年登場したカー用品の中でも特に人気がある商品の特徴などをご紹介します。今後のカー用品のお買い物の際にぜひお役立てください。今回はカーナビゲーションとともに車内で利用されるリアシート用モニターとアシストカメラを調査します。

リアシート用モニター

世の中では3列シートを持つミニバンが増えています。せっかくカーナビにDVDの再生機能があるのだから、後部座席にお座りのお子様テレビやDVDを見せたい、ロングドライブや渋滞時でも車内で快適に過ごしたい、そんなニーズにこたえる商品がリアシート用モニターです。

では、車種やドライバーのニーズに対して、どのような商品があるのでしょうか。

NEEDS 1

大型のミニバンなので
大画面で映像を見たい。
見ない時は、すっきり収納させたい。

**フリップダウンモニター
(天井取り付けタイプ)**



NEEDS 2

手軽に後部座席で
テレビを見たい。

**リアモニター
(座席取り付け式)**



NEEDS 3

モニターは欲しいが、
車内はスッキリさせたい。

ヘッドレストユニット埋め込み式*



※ 車種限定で販売されており、場合によっては車検に通らないものもありますので、ご注意ください。

アシストカメラ

車種によっては後方や前方の視界が見にくいものがあります。また、車庫入れが苦手というドライバー向けにアシストカメラの普及が進んできています。カーナビ同様、一度利用すると手放せなくなるカーグッズです。後付けの商品ならではの便利な商品が揃っています。

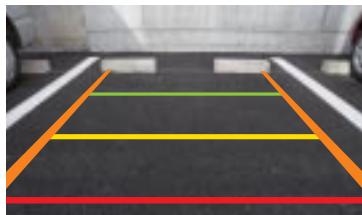


CASE 1

車庫入れに!

バックカメラ

何と言っても威力を発揮するのが車庫入れの時。駐車をしやすくガイドが表示されるのももちろんのこと、広角視野モード、ハイアングルモードなどカメラの見え方を選ぶことができるような商品もあります。



CASE 2

縦列駐車に!

サイドビューカメラ

縦列駐車や路肩に寄せるのが苦手なドライバーの味方になるのがサイドビューカメラ。カメラにLED照明が装備された商品もあり、夜間等における自動車側面の確認に強い力を発揮します。



CASE 3

見通しの悪い道に!

フロントカメラ

塀や生垣等に囲まれた見通しの悪い路地から大通りに出る時など、自動車の先端を出しただけで左右を確認することができ、事故を未然に防ぐことができます。



注) 「道路運送車両の保安基準」の改正により、2009年1月1日以降に作られた新車へのカメラ等の取り付けができないケースがあります。詳しくは各自動車メーカーにお問い合わせください。

財務報告

連結貸借対照表

単位:百万円	第62期 (2008年6月30日現在)	第1四半期 (2009年6月30日現在)	第63期 (2009年6月30日現在)	第1四半期 (2009年6月30日現在)	第62期 (2009年3月31日現在)
(資産の部)					
流動資産	131,342		139,912		136,968
固定資産	107,308		79,058		87,199
有形固定資産	45,145		38,899		40,992
無形固定資産	16,609		8,499		10,830
投資その他の資産	45,553		31,660		35,376
資産合計	238,650		218,971		224,168
(負債の部)					
流動負債	50,855		46,037		44,842
固定負債	24,402		21,423		23,847
負債合計	75,258		67,460		68,689
(純資産の部)					
株主資本	162,971		150,666		154,807
評価・換算差額等	△438		115		△44
少数株主持分	859		728		715
純資産合計	163,392		151,510		155,478
負債純資産合計	238,650		218,971		224,168

POINT 1

資産の部

当第1四半期末の総資産は前期末より51億96百万円減少しました。流動資産は主にFC加盟法人が夏商戦に向けて当社からの仕入れを増加したことにより、受取手形及び売掛金が増加した一方、海外子会社などが連結対象外になったことにより、たな卸資産が減少しました。固定資産は、主に米子国子会社が連結対象外になったことや国内の退店した店舗の土地を売却したこと、また社債の償還予定が1年以内になったことによる投資有価証券から有価証券への振替などにより減少しました。

POINT 2

負債・純資産の部

当第1四半期末の負債は前期末より12億28百万円減少しました。主に夏商戦に向けた商品仕入れの増加に伴う支払手形及び買掛金の増加により流動負債が増加した一方、長期借入金返済などにより固定負債が減少しました。純資産の部は前期末より39億68百万円減少しました。これは配当の支払や自己株式の取得によるものです。

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円	第62期 (自2008年4月1日 至2008年6月30日)	第1四半期 (自2009年4月1日 至2009年6月30日)	第63期 (自2009年4月1日 至2009年6月30日)	第1四半期 (自2009年4月1日 至2009年6月30日)	第62期 (自2008年4月1日 至2009年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,305		4,636		7,027
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,045		△3,160		4,542
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,773		△6,169		△9,258
現金及び現金同等物に係る換算差額	186		18		△200
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△7,937		△4,675		2,111
現金及び現金同等物の期首残高	49,637		51,748		49,637
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	41,699		47,073		51,748

POINT 3

- 営業活動によるキャッシュ・フローは、主に売上債権の増加42億88百万円がありました一方で、仕入債務の増加45億44百万円および税金等調整前四半期純利益19億29百万円等があり、46億36百万円の資金の獲得となりました。
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有価証券の取得による支出19億96百万円などにより、31億60百万円の資金の支出となりました。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、主に自己株式の取得による支出31億73百万円および配当金の支払額18億73百万円等があり、61億69百万円の資金の支出となりました。

連結損益計算書

単位:百万円	第62期 第1四半期 (自2008年4月1日 至2008年6月30日)	第63期 第1四半期 (自2009年4月1日 至2009年6月30日)	第62期 (自2008年4月1日 至2009年3月31日)
売上高	68,002	59,538	259,144
売上原価	48,262	41,583	177,950
売上総利益	19,739	17,955	81,193
販売費及び一般管理費	19,721	15,869	76,103
営業利益	18	2,085	5,090
営業外収益	2,434	1,446	7,344
営業外費用	1,865	895	5,878
経常利益	586	2,635	6,556
特別利益	5,190	3,750	4,823
特別損失	—	4,457	15,318
税金等調整前四半期(当期)純利益	5,777	1,929	△3,937
法人税、住民税及び事業税	1,344	2,030	1,325
法人税等調整額	1,512	△997	△1,862
少数株主利益・損失(△)	△13	22	△3
四半期(当期)純利益	2,933	873	△3,397

POINT 1

売上高

当第1四半期は、主に中期経営計画の施策実施に伴い、連結対象外となった国内外の子会社の売上が減少しました。国内店舗売上が好調であった一方、FC加盟法人への卸売が減少したこともあり、前年同期に比べ84億63百万円減少の595億38百万円となりました。

POINT 2

売上総利益

当第1四半期は海外子会社や事業の整理などに伴い減少したものの、国内における売上原価低減の取り組み効果もあり、売上総利益率は前年同期の29.0%から30.2%に上昇いたしました。

POINT 3

営業利益

販売費及び一般管理費において、整理した子会社の経費が減少した他、広告宣伝費・IT関連費用などを削減したことにより前年同期比19.5%減少の158億69百万円となり、売上高に対する比率も前年同期の29.0%から26.7%に改善いたしました。これらの結果、営業利益は前年同期に比べて20億67百万円増加の20億85百万円となりました。

POINT 4

経常利益

当第1四半期は営業外損益において前年同期に比べて為替差益が減少したものの、投資有価証券評価損が減少したことなどにより営業外損益は前年並みとなり、経常利益は前年同期比349.2%増加の26億35百万円となりました。

POINT 5

四半期(当期)純利益

当第1四半期は、特別利益としてAUTOBACS STRAUSS INC.の全株式を第三者に譲渡したことにより事業再構築引当金戻入額と当該株式の売却益など37億50百万円を計上いたしました。また、特別損失としてAUTOBACS STRAUSS INC.の全株式譲渡に伴う貸倒引当金繰入額及び自動車教習所2社の固定資産減損損失など44億57百万円を計上いたしました。これらの結果、四半期純利益は前年同期比70.2%減少の8億73百万円となりました。

商号

株式会社オートバックスセブン
(AUTOBACS SEVEN CO., LTD.)

創業

1947年2月

資本金

339億9千8百万円

主な事業内容

当社は、各種自動車用品部品の委託製作、販売、輸出入を主要事業として、小売総合専門店を直営店とフランチャイズ店で並行して国内外にチェン展開しております。

主要な事業所

本社	(東京都江東区)
北日本エリア事業部	(宮城県仙台市)
関東エリア事業部	(千葉県市川市)
中部エリア事業部	(愛知県名古屋)
関西エリア事業部	(大阪府吹田市)
南日本エリア事業部	(福岡県福岡市)

オートバックスグループ国内店舗数 (2009年9月1日現在)

オートバックス	399店舗
スーパーオートバックス	76店舗
オートハローズ	8店舗
走り屋天国セコハン市場	28店舗
オートバックスエクスプレス	6店舗

役員一覧

取締役

代表取締役

湧田 節夫

取締役

経森 康弘

井手 秀博

中田 康雄^{※1}

宮内 英樹^{※1}

森本 弘徳

田村 達也^{※1}

服部 範雄^{※1}

松村 晃行

監査役

野上 明 常勤監査役

森野孝太郎^{※2} 常勤監査役

住野 泰士 常勤監査役

田邊 健介^{※2} 監査役

池永 朝昭^{※2} 監査役

執行役員

湧田 節夫 社長執行役員 チェン本部長

経森 康弘 副社長執行役員 システム・総務統括
兼 海外事業統括 兼 車販売事業統括

井手 秀博 常務執行役員 経理・財務統括 兼 経理・財務担当

森本 弘徳 常務執行役員 チェン戦略統括

松村 晃行 上席執行役員 関東エリア事業部長

住野 耕三 上席執行役員 商品統括

上西園 英司 上席執行役員 人事・総務担当

伊藤 浩明 執行役員 北日本エリア事業部長

戸出 譲 執行役員 中部エリア事業部長

小林 喜夫巳 執行役員 関西エリア事業部長

加藤 哲也 執行役員 南日本エリア事業部長

藤原 伸一 執行役員 チェン戦略担当 兼 チェン企画室長

熊倉 栄一 執行役員 カー用品事業担当

角倉 正親 執行役員 車検整備事業担当

榎 宏介 執行役員 C@RS事業担当

江本 吉弘 執行役員 海外事業担当

小平 智志 執行役員 内部統制担当

吉山 弘樹 執行役員 経営企画担当 兼 経営企画室長

平田 功 執行役員 情報システム担当 兼 情報システム部長

※1 会社法第2条第15号に定める社外取締役

※2 会社法第2条第16号に定める社外監査役

株式情報

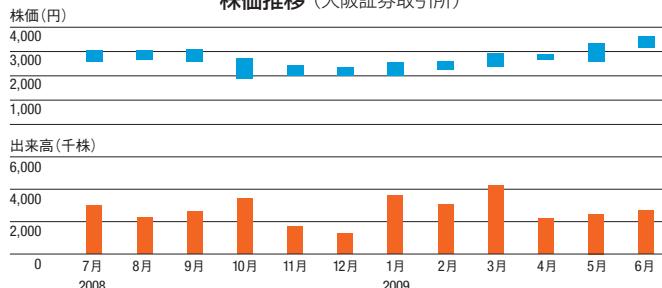
2009年3月31日現在

発行する株式の総数	109,402,300株	
発行済株式の総数	39,255,175株	
株主数	11,859名	
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月開催	
基準日	定時株主総会	毎年3月31日
	期末配当金	毎年3月31日
	中間配当金	毎年9月30日
	なお臨時に必要があるときは、あらかじめ公告いたします。	
単元株式数	100株	
公告掲載新聞	日本経済新聞	
上場金融商品取引所	東京証券取引所、大阪証券取引所	
証券コード	9832	
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社	
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部	
郵便物送付先	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10号 住友信託銀行株式会社 証券代行部	
電話照会先	0120-176-417	
インターネット	ホームページURL http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html	

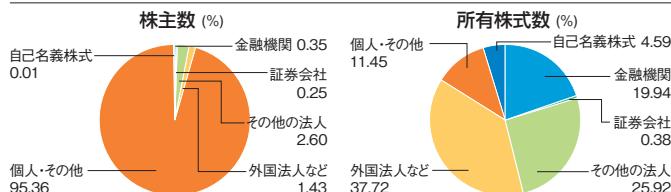
大株主一覧	いちごアセットトラスト 有限会社スミノホールディングス 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G) ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー) サブ アカウント アメリカン クライアント シルチェスター インターナショナル インベスターズ インターナショナル パリユー エクイティ トラスト 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) 財団法人在宅医療助成勇美記念財団 ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー) リユーエス タックス イグザンプト ペンション ファンド 株式会社スミショーホールディングス
-------	---

- 注) 1. 当社は自己株式1,800千株(所有割合4.59%)を保有していますが、当該自己株式は議決権の行使が制限されているため、上記の大株主から除いています(2009年3月31日現在)。また、2009年5月22日に、上記自己株式1,800千株を消却いたしました。それにより、発行済株式の総数は37,454,204株となりました。
2. 上記以外の名義書換のなされていない株主については、有価証券報告書をご覧ください。

株価推移 (大阪証券取引所)



所有者別状況 (2009年3月31日現在)



住所変更の手続きについて

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛てにお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の電話照会先にご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。

株主優待制度について

「オートボックス」、「スーパーオートボックス」などで、1,000円(消費税込み)のお買い上げ毎に1枚ご利用いただける株主優待券(300円値引)を、3月末日(6月発送)と9月末日(12月発送)の年2回、株主名簿に記載されている、単元株式数以上を所有する株主の皆さまにお送りしています。
[ご参考]

- 配布枚数(半期毎): 所有株式数 100株~999株 ご優待券25枚
1,000株~ ご優待券50枚
- ご優待券は商品券・他の値引(買物券、クーポン券、値引券等)を併用の場合、値引き後の金額に対してご利用いただけます。
- ご優待券は日本国内のオートボックス、スーパーオートボックス、オートボックス走り屋天国セコハン市場、オートボックスエクスプレス、オートハロース及びテクノキューブの全店舗でご利用いただけます。ただし、オートボックスC@RS、海外店舗ではご利用いただけません。
- ご優待券は燃料、車両、廃タイヤ処分料、保険、税金、飲食、タバコなどにはご利用いただけません。

※ 車検につきましては、重量税、印紙代、自賠責保険料、リサイクル料にはご利用いただけません。車検基本料、検査手続き代行料、完成検査料、その他整備工賃、部品代にはご利用いただけます(手続き費用は、一部店舗によって名称が異なります)。

“2009 AUTOBACS SUPER GT Round 9 MOTEGI GT 250km RACE”の 観戦チケットを抽選でペア5組10名様にプレゼント!!

「SUPER GT」は「全日本GT選手権」として1994年に発足以来、年々人気が高まり、国内で最大の観客動員数を誇る人気No.1のレースとなりました。当社は大会冠スポンサーとして協賛し、モータースポーツの楽しさや感動を多くの方々に伝えています。また、それを通じて自動車関連マーケット全体の活性化を目指しています。

この度、SUPER GT 最終戦 第9戦 もてぎGT250Kmレースにペアで5組10名様をご招待いたします。

応募要項

官製はがきに下記①～⑥を明記の上、宛先住所までご送付ください。なお、当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。(ご応募いただいた方の個人情報を本プレゼント企画の連絡以外の目的で使用することはありません。)

①氏名 ②郵便番号/住所 ③電話番号 ④年齢 ⑤今、一番当社に対して興味のあること(例:株価、業績、配当、中期経営計画など) ⑥優待の利用方法(例:車検に利用した、タイヤを購入したなど)



開催概要

大会名称: AUTOBACS SUPER GT Round 9
MOTEGI GT 250km RACE

開催会場: ツインリンクもてぎ(栃木県)

開催日程: 2009年11月7日(土) 予選・
11月8日(日) 決勝

宛先

〒135-8717

東京都江東区豊洲5-6-52 NBF豊洲キャナルフロント
オートボックスセブン 広報IRグループ

「オートボックス通信vol.28 GTチケットプレゼント」係

応募締め切り

2009年10月10日(当日消印有効)

AUTOBACS SEVEN CO., LTD.

株式会社オートボックスセブン

東京都江東区豊洲5-6-52 NBF豊洲キャナルフロント 〒135-8717



この株主通信は、適切に管理された森林を使用したFSC認証紙に、大豆油インキで印刷しています。

お問い合わせ先

・IR情報に関するお問い合わせ先

経営企画室 広報IRグループ
電話: 03-6219-8718 e-mail: investors@autobacs.com

・住所変更等、株式事務に関するお問い合わせ先

住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 0120-176-417

※詳細は14ページをご確認ください。